

・赤字は、骨子から変更した点

・青字は新たな視点・取り組み（青下線は拡充部分）

基本目標	分類	具体的な施策	事業名
<p>（1）まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産年齢人口（15～64歳）の社会減を5年間で400人程度抑制 基準値（H27～R1年度）：2,180人（436人/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：1,780人（356人/年）に抑制 市の施策により創出する新規雇用者数 基準値（H27～H30年度）：約300人（75人/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：約750人（150人/年） <p>【第2期の基本的な方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造業を中心としたものづくり産業は本市の雇用を支えており、様々な振興策により、この雇用基盤を維持していく。 働き手確保の観点から、新卒者を含めた幅広い世代において、地元企業への就職促進を図る。 若者定着には、製造業のほかにも多様な雇用の場が必要であることから、様々な分野の企業誘致や魅力ある雇用の創出に取り組む。 仕事とセットでの移住情報の発信などに力を入れ、出身者のUターンを推進する。 	<p>①「働くまち」として室蘭を選んでもらう</p> <p>②「働くまち」の元気を維持する</p>	<p>●地元企業への就職促進とU I Jターンの推進【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> （調整中）工大生の地元定着に関する指標 UIJターン促進による新規就業者数 基準値（H27～30年度）：37人（9.25人/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：60人（12人/年） <p>●ものづくり産業の基盤強化【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き手確保支援に関する事業の助成申請件数 基準値（H28～30年度）：18件（6件/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：40件（8件/年） ロボット・IoT・AI等の導入による生産性向上や、新たな産業分野にチャレンジした企業数 基準値：— ↓ 目標値（R2～6年度）：10社 <p>●企業誘致の推進や多様な雇用の場の創出【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興条例に基づく助成申請件数 基準値（H27～30年度）：20件（5件/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：20件（5件/年） 市内創業支援事業の助成件数 基準値（H28～30年度）：14件（4.6件/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：25件（5件/年） 	<p>□移住推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道と連携した移住支援金の助成 地元出身者などに対して、仕事などの情報発信強化 <p>□西いぶり合同企業説明会 広域連携</p> <p>□開催事業 大学連携</p> <p>□大学連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 室工大や企業等と連携し、若者の地元定着向上に向けた取り組みを推進 <p>□職業理解促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員向けものづくり工場見学会や、ものづくり匠教室を開催 <p>□働き手確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 奨学金返還支援事業補助金 女性向け職場改善・魅力アップ支援事業費補助金 ワークライフWEBページ作成支援事業費補助金 企業社宅整備等支援事業費補助金 <p>□航空機産業参入支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上支援 認証取得支援 製造プロセス改善支援 部品試作支援 <p>□IoT導入促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 室蘭テクノセンターのものづくり創出支援事業補助金のメニューを拡大 <p>□サテライトオフィスモニター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究開発や人材確保の拠点として試行的に利用可能なオフィスを室蘭テクノセンター内に整備。また、利用企業と地元企業・大学との関係構築を支援。 <p>□「研究開発・IT企業誘致」プロジェクトチームの設置</p> <p>□市内創業支援等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業支援事業費補助金 空き店舗出店促進支援事業費補助金 自宅開業備品購入助成

基本目標	分類	具体的な施策	事業名
<p>（２）子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合 基準値（H30年度）：30.2% <li style="text-align: center;">↓ 目標値（R6年度）：35.0% <p>【第2期の基本的な方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援策をとおして、子育て世代の定着を図る取り組みに加え、新たに子育て前の世代に対する結婚や子育て等の希望を叶える取り組みを進めることで若年者の定着を図る。 良好な宅地供給は社会減の抑制に一定の効果があることから、引き続き市有地などを活用した定住環境整備に取り組む。 長期的な視点で、継続して出生率向上に取り組むとともに、安心して子育てできる環境づくりを進める。 	<p>①子育て前の世代に住んでもらう</p>	<p>●結婚や子育て等の希望を叶える環境づくり【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が支援した出会いの場創出につながる事業数 基準値：— ↓ 目標値（R2～6年度）：10件（2件/年） 特定不妊治療助成件数 基準値（H27～30年度）：161件（40件/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：200件（40件/年） 結婚・出産新生活応援事業の助成件数 基準値：— ↓ 目標値（R2～6年度）：200件（40件/年） 	<ul style="list-style-type: none"> □出会いの場サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出会いの場づくりや結婚支援相談窓口の設置 ・出会いの場等の開催費用への助成 □特定不妊治療費助成 □結婚・出産新生活応援助成 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚・出産をきっかけに市内で転居する世帯に対し引越費用や家賃を助成
	<p>②子育て世代に住み続けてもらう</p>	<p>●安心して子育てできる環境づくり【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童数 基準値（H30年度）：72人 ↓ 目標値（R2～6年度）：基準値より減（R2～6年度の平均） 子育て応援団の登録件数 基準値（H27～30年度）：241件 ↓ 目標値（R2～6年度）：300件 	<ul style="list-style-type: none"> □待機児童対策 <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て支援員」養成研修会を開催 ・保育士バンクの推進 □子育て情報発信パートナーづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力のある子育て応援団を中心に、市内の遊び場や子育て関連施設を回る見学会を開催 ・子育て応援団の登録 □市有地を活用した宅地供給 <ul style="list-style-type: none"> ・居住用途での活用に向けて市有地を売却し、民間による宅地供給を促進 □「定住・空家活用」プロジェクトチームの設置

・赤字は、骨子から変更した点

・青字は新たな視点・取り組み（青下線は拡充部分）

基本目標	分類	具体的な施策	事業名
<p>（3）まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光入込客数 基準値（H30年度）：1,242千人 ↓ 目標値（R2～6年度）：1,300千人 (R2～6年度の平均) <p>【第2期の基本的な方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 港や歴史・文化などの資源を活かし、交流人口の拡大に向けて、取り組みを一層強化するとともに、観光消費額拡大の視点を取り入れる。 従来観光資源に限らない、新たな視点でまちの資源を活用することで、交流人口の拡大を図るほか、「行きたくなる」「住みたくなる」まちのイメージづくりと発信を行うことで、市外からの認知度向上と市民の愛着醸成を図る。 地域の課題を資源として捉える発想を持ち、企業・大学と連携した取り組みを進めることで、関係人口を創出する。 	<p>①港や観光資源を活かし交流人口を拡大する</p> <p>②新たな視点でまちの資源を活用し、交流・関係人口を創出する</p>	<p>●国内外の客船誘致等の推進 【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 客船の寄港回数 基準値（H27～30年度）：26回（6.5回/年） ↓ 目標値（R2～6年度）：35回（7回/年） <p>●地域ごとの魅力向上と稼ぐ観光の推進 【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光消費単価（日帰り客） 基準値（H29年度）：3,720円 ↓ 目標値（R6年度）：4,120円 観光消費単価（宿泊客） 基準値（H29年度）：16,782円 ↓ 目標値（R6年度）：17,182円 <p>●新たな視点でのまちの資源の活用と魅力の発信 【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学会等開催支援補助金の助成件数 基準値：－ ↓ 目標値（R2～6年度）：35件 <p>●地域課題の解決を通じた企業等との関係づくり 【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決につながる取り組みの事業化 基準値：－ ↓ 目標値（R2～6年度）：事業化 	<p>□海外ポートセールス事業 □宮古市交流促進事業 ・商工会議所・観光協会・市で構成される実行委員会で、宮古産業まつりに出展</p> <p>□観光振興計画の推進 広域連携 ・交流人口拡大イベント補助金 ・森蘭航路運航支援 ・炭鉄港PRの推進 ・広域連携による観光促進</p> <p>□学会等開催支援事業 大学連携 ・室工大が関係する市内開催の学会等への助成 □まちのイメージづくり・魅力発見事業 ・室蘭の資源や魅力を整理し、市民が共感し自ら発信する機運につなげるための調査を実施</p> <p>□企業等との地域課題解決型ワークショップ開催事業 企業連携 ・市が抱える課題を技術で解決することを目的に、企業等と連携したワークショップを開催。</p> <p>□西いぶり・首都圏学生インターンシップ推進事業 大学連携 ・西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会が主体となり、首都圏学生のインターンシップ事業を実施。</p>